

第6章 長寿命化の実施計画

第1節 改修等の優先順位付けと実施計画

第1項 改修等の優先順位付け

長寿命化改修等は、前項で示した改修周期に基づいて実施していくことが基本となります。しかしながら、本村の教育施設は、各施設を集中して建設した経緯があるため、各周期での大規模改修や長寿命化改修を、該当する全ての施設で実施する場合、改修費が増大し、財政上実施が困難となることが想定されます。また、大規模改造については築20年を目安に行われることが望ましいところですが、これまでの改修は事後改修が基本となっており、20年以上経過した現在でも1度も改修されていない部位が存在し、早期の改修が必要です。本計画では、学校施設の長寿命化を図ることにより、財政負担を軽減・平準化することが目的の一つであり、そのためには改修等の優先順位付けが必要です。改修等の優先順位付けの基準を表6-1に示します。

表 6-1 改修等の優先順位付けの基準

- ・ 原則として、経過年数の長い施設から長寿命化改修を実施。
- ・ 築20年で大規模改造を行っていない施設は、原則5年以内に実施。
- ・ 建物の物理的な劣化状況や教育環境の質的充実度、建設からの経過年数や修繕・改修などの履歴情報、中長期の周期的改修スケジュールを総合的に判断。
- ・ 人口の増加により増床が必要となる施設の増改築を優先的に実施。
- ・ 部位修繕対応：部位別劣化評価にて、評価Cについては、5年以内に周期的な改修工事が無い場合、修繕を行い安全性や機能性を確保。
- ・ 長寿命化改修：劣化状況調査結果から、長寿命化に適した建物は周期的に改修。なお、バリアフリー化は、大規模改修工事に取込み整備。
- ・ 改築：長寿命化に適さない建物は、目標使用年数まで利用できるための老朽化対策を行い、その時点の老朽化状況により改築を判断。長寿命化する建物は、目標使用年数まで利用し、その時点の老朽化状況に支障がなければ、継続使用。

第2項 実施計画

まず、劣化状況調査及びヒアリング結果から以下の判定基準を元に実施方針を決定します。

表 6-2 判定項目及び判定基準

判定項目		判定基準	実施方針
現状の観点	物理的劣化状況	総合劣化度、部位別劣化評価、効率化、最適化、工事規模、道連れ工事の有無	
	教育環境の質的充実度	快適性、利便性	
過去の観点	建設からの経過年数	残存耐用年数	
	修繕・改修履歴	修繕・改修の実施時期とその部位	
将来の観点	周期的改修スケジュール	周期的改修までの残存年数	
	園児・児童・生徒数の見通し	スペース余剰	

表 6-3 実施方針

施設名	建物名	実施方針
忍野幼稚園	園舎	【増築】 不足教室を増築 【部位修繕】 「屋根改修」、「エアコン設置」 ↓ 【長寿命化改修】 周期的に改修
忍野小学校	北校舎、南校舎	【改築】
	屋内運動場	【大規模改造】 外壁以外の状態は比較的良いため、実施時期を6年延期 ↓ 【長寿命化改修】 周期的に改修
	屋内プール	【部分修繕】 「外壁改修」 【個別対応】 「排煙窓修繕」、「LED照明器具に更新」、「オイルタンク・ボイラー・砂濾過装置・排気ファン更新」 ↓ 【長寿命化改修】 周期的に改修
忍野中学校	南校舎、北校舎	【部分修繕】 「屋根改修」、「外壁改修」、「防水改修」 【個別対応】 「LED照明器具に更新」、「トイレ改修」、「エアコン設置(特別教室)」、「ボイラー更新」 ↓ 【長寿命化改修】 周期的に改修
	屋内運動場	【大規模改造】 「外壁改修」、「防水改修」、「LED照明器具に更新」、「エアコン設置」 ↓ 【長寿命化改修】 周期的に改修
	屋内プール	【部分修繕】 「外壁改修」 【個別対応】 「LED照明器具に更新」、「オイルタンク・ボイラー・砂濾過装置・排気ファン更新」 ↓ 【長寿命化改修】 周期的に改修
	部室1、部室2	【改築】 経過年数40年をめぐり、老朽化状況により改築
共同調理場	調理場	【部位修繕】 「屋根改修」、「外壁改修」、「LED照明器具に更新」、「ボイラー・ポンプ類・エアコン更新」 ↓ 【改築】 経過年数40年をめぐり、老朽化状況により改築
教員住宅	A棟、B棟	【部位修繕】 「屋根改修」、「外壁改修」 ↓ 【長寿命化改修】 周期的に改修

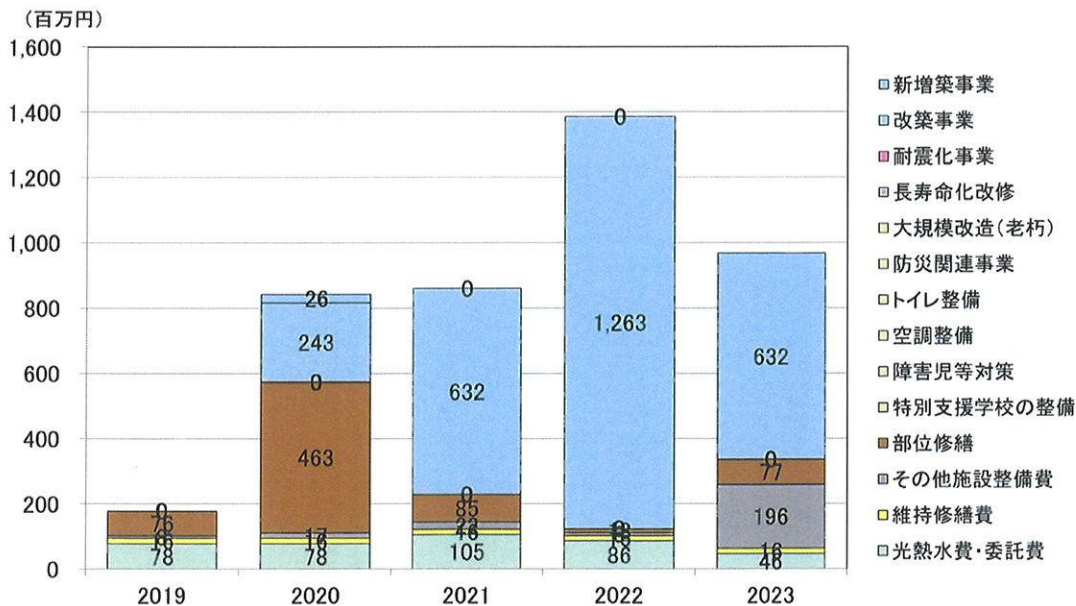
今後5年間の整備計画は、これまで大規模改造が行われてこなかった施設の部分修繕及び、幼稚園・小学校校舎の増改築が集中するため、1.8～14億円/年となり、過去5年間の投資的経費の1.0億円を大きく上回るようになります。

表 6-4 直近5年の個別施設の整備計画

(千円)

事業名称	2019		2020		2021		2022		2023		
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	
施設整備費	新增築事業		幼/園舎	26,000							
	改築事業		小/仮校舎	243,000	小/校舎	631,625	小/校舎	1,263,405	小/校舎	631,780	
	部位修繕	中/体育館 LED・空調	76,000	幼/園舎	125,000	中/体育館	71,754	小/プール	12,803	給/屋根・外壁	46,066
				中/校舎 屋根・外壁 電気・機械	338,141	外壁・内部 704		外壁・機械		給/屋根・外壁 電気・機械	30,499
その他施設整備費	7,556	幼/園庭	7,556	小/キュービクル	7,556	小/開閉器	7,556	小/校庭 給/機器	7,556		
維持修繕費	16,232		16,232		16,232		16,232		16,232		
光熱水費・委託費	78,191		77,678		104,976		85,979		46,494		
合計		177,979		842,592		859,629		1,386,602		967,175	

図 6-1 直近5年の個別施設の整備計画



第2節 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

40年間の計画は、改修時期を調整することで支出のピークシフトを行い、長寿命化による維持・更新コストの総額 132 億円を出来る限り平準化します。

図 6-2 今後の維持・更新コスト(条件付長寿命化)

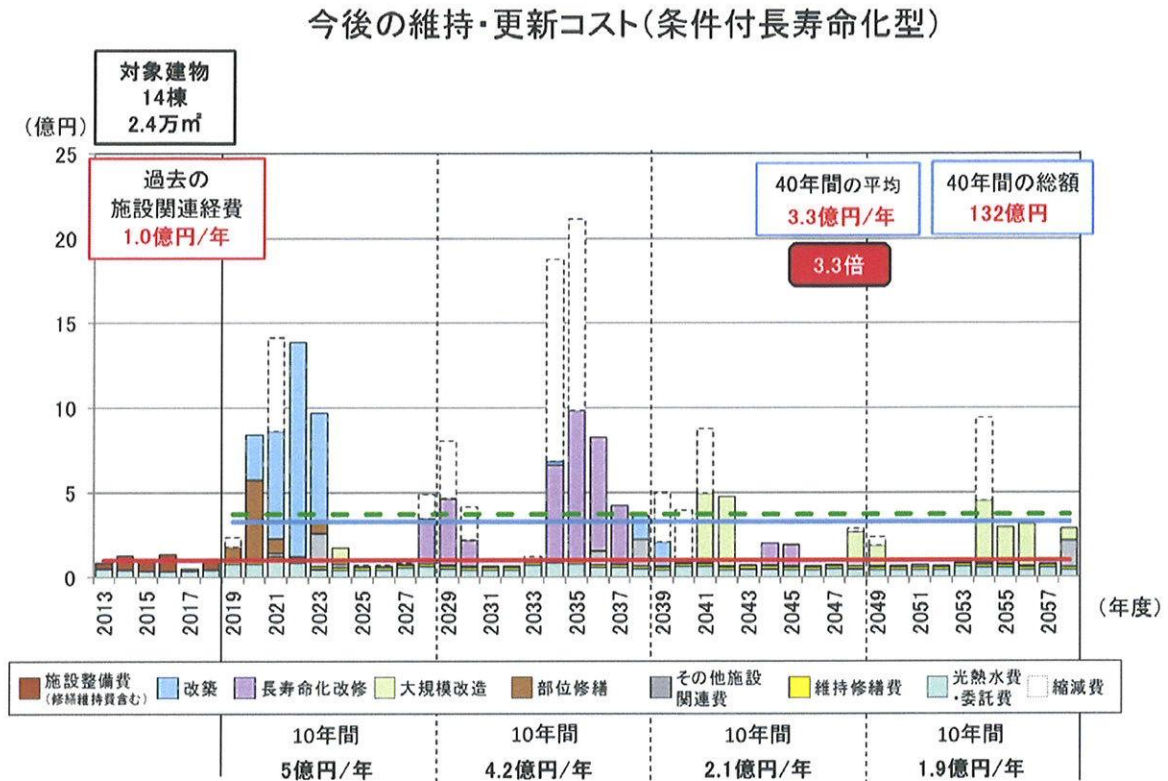


図 6-3 整備スケジュール表

施設名称		2019	2020	2021	2022	2023
幼稚園	既存園舎		部位修繕 (改修済屋根を除く)			
	増築園舎 (2020)		増築			
	その他		園庭整備	ガス器具更新		
小学校	北校舎 (2022)				改築	
	南校舎 (2021)			改築		
	プール		濾材交換		部位修繕 外壁等	
	体育館					
	その他		仮設校舎	キュービクル更新	高圧気中 開閉器更新	グラウンド整備
中学校	南校舎		部位修繕 屋根・外壁・ 電気・機械改修			
	北校舎		部位修繕 屋根・外壁・ 電気・機械改修			
	体育館	部位修繕 照明器具更新 空調設備新設		部位修繕 外壁・内部		
	部室1			部位修繕 外壁		
	部室2					
	プール			部位修繕 外壁		
	その他					
給食	給食					部位修繕 屋根・外壁 ・電気・機械
	その他					厨房機器更新
教員住宅	住宅A					部位修繕 屋根・外壁等
	住宅B					部位修繕 屋根・外壁等

施設名称		2024	2025	2026	2027	2028
幼稚園	既存園舎					長寿命化改修
	増築園舎 (2020)					
	その他					厨房機器更新
小学校	北校舎 (2022)					
	南校舎 (2021)					
	プール		濾材交換			
	体育館	大規模改造				
	その他					
中学校	南校舎					
	北校舎					
	体育館					
	部室1					
	部室2					
	プール			照明器具更新		屋根防水改修
	その他	キュービクル更新				
給食	給食					
	その他					
教員住宅	住宅A					長寿命化改修 屋根・外壁除く
	住宅B					

施設名称		2029	2030	2031	2032	2033
幼稚園	既存園舎	長寿命化改修				
	増築園舎 (2020)		照明器具更新			
	その他					
小学校	北校舎 (2022)				照明器具更新	
	南校舎 (2021)			照明器具更新		
	プール	長寿命化改修				
	体育館					
	その他					
中学校	南校舎					
	北校舎					
	体育館	照明器具更新				
	部室1					
	部室2					
	プール					
	その他					高圧気中 開閉器更新
給食	給食					
	その他					
教員住宅	住宅A	長寿命化改修 屋根・外壁除く				
	住宅B	長寿命化改修 屋根・外壁除く				

施設名称		2034	2035	2036	2037	2038
幼稚園	既存園舎					照明器具更新
	増築園舎 (2020)					
	その他			ガス器具更新		
小学校	北校舎 (2022)					
	南校舎 (2021)					
	プール	濾材交換				
	体育館	照明器具更新				
	その他					
中学校	南校舎	長寿命化改修				
	北校舎		長寿命化改修			
	体育館			長寿命化改修 (照明器具を除く)		
	部室1	改築				
	部室2	改築				
	プール			長寿命化改修		
	その他			グラウンド整備		
給食	給食					改築
	その他					厨房機器更新
教員住宅	住宅A					照明器具更新 ガス給湯器更新
	住宅B					

施設名称	2039	2040	2041	2042	2043
幼稚園	既存園舎				
	増築園舎 (2020)		大規模改造		
	その他				
小学校	北校舎 (2022)			大規模改造	
	南校舎 (2021)		大規模改造		
	プール	照明器具更新 ・濾材交換			
	体育館				
	その他			高圧気中 開閉器更新	
中学校	南校舎				
	北校舎				
	体育館	照明器具更新			
	部室1				
	部室2				
	プール				
	その他				
給食	給食	改築			
	その他				
教員住宅	住宅A				
	住宅B	照明器具更新 ガス給湯器更新			

施設名称	2044	2045	2046	2047	2048
幼稚園	既存園舎				大規模改造
	増築園舎 (2020)				
	その他				厨房機器更新
小学校	北校舎 (2022)				
	南校舎 (2021)				
	プール	ポンプ類 ・滅菌装置更新 濾材交換			
	体育館	長寿命化改修			
	その他				
中学校	南校舎	照明器具更新			
	北校舎		照明器具更新		
	体育館				
	部室1	照明器具更新			
	部室2	照明器具更新			
	プール			照明器具更新	
	その他				
給食	給食				照明器具更新
	その他				
教員住宅	住宅A				大規模改造
	住宅B				

施設名称		2049	2050	2051	2052	2053
幼稚園	既存園舎					
	増築園舎 (2020)		照明器具更新			
	その他			ガス器具更新		
小学校	北校舎 (2022)				照明器具 ・盤類更新	
	南校舎 (2021)			照明器具 ・盤類更新 昇降設備更新		
	プール	大規模改造 濾過装置更新				
	体育館					
	その他			キュービクル更新		
中学校	南校舎					
	北校舎					
	体育館	照明器具更新 空調設備更新				
	部室1					
	部室2					
	プール					
	その他					高圧気中 開閉器更新
給食	給食					
	その他					ガス器具更新
教員住宅	住宅A					
	住宅B	大規模改造				

施設名称		2054	2055	2056	2057	2058
幼稚園	既存園舎					照明器具更新
	増築園舎 (2020)					
	その他					
小学校	北校舎 (2022)					
	南校舎 (2021)					
	プール	濾材交換				
	体育館	照明器具更新				
	その他					
中学校	南校舎	大規模改造				
	北校舎		大規模改造			
	体育館			大規模改造		
	部室1	大規模改造				
	部室2	大規模改造				
	プール			大規模改造 濾過装置更新		
	その他	キュービクル更新				
給食	給食					大規模改造
	その他					厨房機器更新
教員住宅	住宅A					照明器具更新 ガス給湯器更新
	住宅B					

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

第1節 情報基盤の整備と活用

長寿命化計画の見直し・更新等を行うには、「学校施設の実態」で把握した園児・児童・生徒数、点検・診断結果や過去の修繕・改修履歴等、施設の状態をカルテに蓄積・更新し、施設整備費の把握、修繕・改修メニューとその実施時期の検討や使用状況の比較などに活用します。

図 7-1 情報活用のイメージ

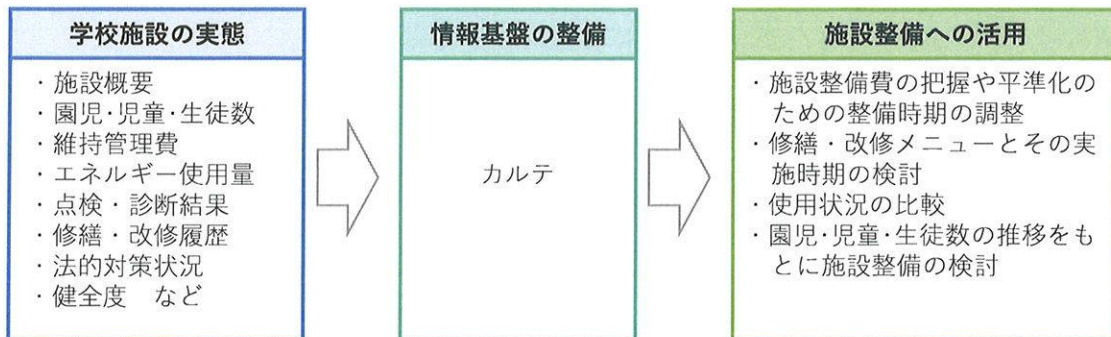


図 7-2 施設カルテ(見本)

施設名 2016年度 調査時

施設基本情報			
所在地			
敷地面積	〇 m ² (建物用) 〇 m ² (運動場用) 〇 m ² (その他)		
構造種別	(外観写真)		
階数			〇 階
延床面積			〇 m ²
保有教室数			普通教室 〇 室 特別教室 〇 室
学級数			普通 〇 室 特殊 〇 室
児童生徒数			普通 〇 人 特殊 〇 人
プール			有 無 大きさ L 〇 m × W 〇 m コース数 〇

建物基本情報			
建物名	延べ面積	竣工年度	構造形式

学校全体評価レーダーチャート	配置図

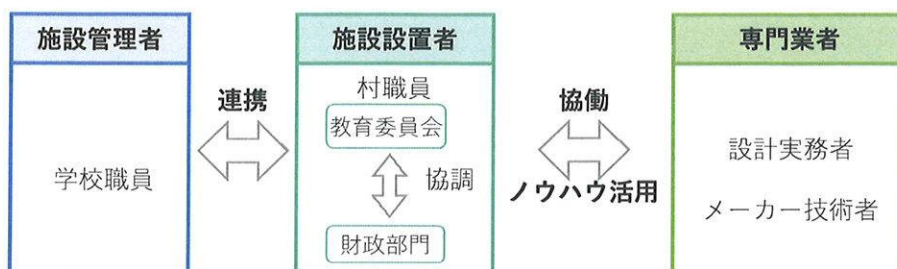
※老朽度:値が小さい程、老朽化が進んでいる。

第2節 推進体制等の整備

長寿命化計画を継続的に運用するには、施設設置者(村職員)と施設管理者(学校職員)の連携が重要になります。点検・診断や計画の見直しなどは、技術的知見を有する職員が必要となりますが、職員を十分確保できない場合は、専門業者への委託を行い、体制の充実を図ります。

なお、厳しい財政事情の下、計画の実施には、教育委員会と予算確保の面に対応する財政部門との協調が一層重要となります。

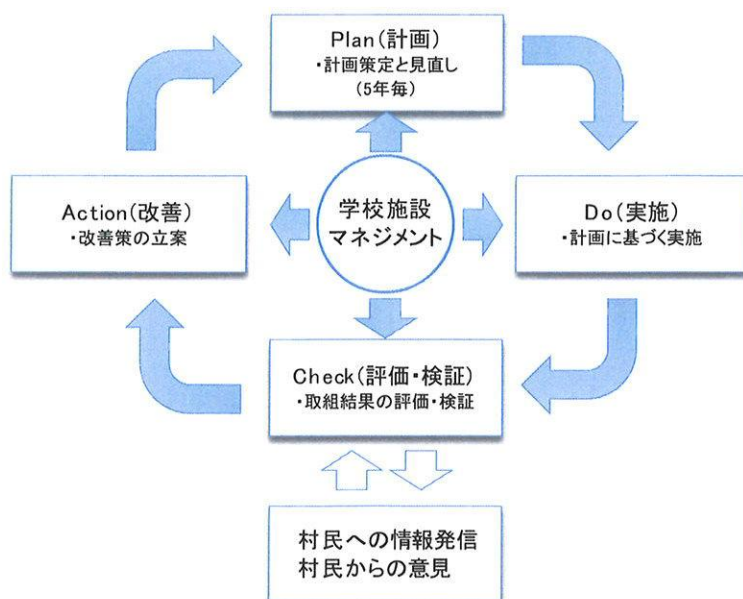
図 7-3 推進体制



第3節 フォローアップ

長寿命化計画は、10年ごとに見直しを実施します。その際は、計画の進捗状況や目標達成状況を把握するとともに、日常点検や法定点検の結果から施設の老朽化に関する状況・評価を行います。また、学校は村民生活に深く関係するため、これらの情報を村民と共有できるよう、村のホームページや広報等を通じて情報発信するとともに、村民からの意見を参考に計画を推進します。

図 7-4 業務サイクル(PDCA サイクル)



忍野村学校施設中長期マネジメント計画報告書
平成 30 年 9 月

発行・編集：忍野村教育委員会

住所：〒401-0592

山梨県南都留郡忍野村忍草 1514(忍野村役場別館)

電話：0555-84-2042 / FAX：0555-84-4140